

教科名	数学	単位数	3単位	担当者 後藤田 健二 東海林 元彦 藤丸 靖規 村上 豪章
科目名	数学C	学年・学級	3年次理系・選択	
使用教科書 副教材等	数学C (数研出版) 新課程 教科書傍用 サクシード 数学Ⅲ+C (数研出版) 新課程 チャート式 解法と演習 数学Ⅲ+C (数研出版)			
1 学習の到達目標 (育成すべき資質・能力)				
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 複素数平面と平面上の曲線についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 複素数の演算や平面上の曲線を幾何学的性質と捉え考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
2 学習の評価 (評価基準と評価方法)				
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力、判断力、表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度	
観 点 の 趣 旨	平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	複素数の演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	
主 た る 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・単元テスト</li> <li>・定期考査</li> <li>・課題</li> <li>・レポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・単元テスト</li> <li>・定期考査</li> <li>・課題</li> <li>・レポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・単元テスト</li> <li>・定期考査</li> <li>・課題</li> <li>・レポート</li> </ul>	
占 め る 割 合	34%	34%	32%	
3 学習の目標と振り返り				
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～	
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】	
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】	

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
6	複素数平面	◎	◎	○	<p>【知識・技能】</p> <p>①複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解している。</p> <p>②ド・モアブルの定理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>① 事象を複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。</p> <p>②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。</p>	定期考査 レポート・課題提出
9	式と曲線	◎	◎	○	<p>【知識・技能】</p> <p>①放物線、楕円、双曲線が2次式で表されること及びそれらの2次曲線の基本的な性質について理解している。</p> <p>②曲線の媒介変数表示について理解している。</p> <p>③極座標の意味及び曲線が曲方程式で表されることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察することができる。</p> <p>②日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数表示や極座標の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。</p> <p>②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。</p>	定期考査 レポート・課題提出